

令和5年12月25日開催分

津久見市教育委員会会議録

1 日時会場 開 会 令和5年12月25日(月) 14時00分
閉 会 同上 14時31分

会 場 教育委員会2階会議室

2 出席状況 委 員 出席者 教育長 後 藤 榮 一
職務代理 深 井 辰 海
委 員 佐 藤 裕 子
委 員 田 島 岳 自
委 員 甲 斐 みどり

事務局 学校教育課長 橋 本 修 二
管理課長 宗 篤 史
生涯学習課長 川 野 明 寿

欠席者 なし

傍聴者 0名

3 議題の概要

(2) 報 告

- ① 11、12月の行事報告について
- ② 12、1月の主な行事予定について

(3) その他

- ① 次回の委員会開催日程について

(4) 閉会

4 会議の内容

(教育長の開会宣言)

(署名委員の選任)

本会議の会議録署名委員を佐藤委員に依頼する。

(会議の概要説明)

管理課長から、本日の会議の概要について説明あり。

(2) 報 告

① 11 月、12 月の行事報告について

11月28日	火	・第2回津久見市生徒指導連絡協議会 ・令和5年度 子どもの安全を考える市民講演会 講師 矢野茂生 特定非営利活動法人 おおいた子ども支援ネット理事長
11月29日	水	・市連合PTA会長来所 ・「あの夏を取り戻せ」藤丸監督、津久見高校野球部元選手・マネージャー参加
11月30日	木	・令和5年度第10回校長会議
12月1日	金	・大分教育事務所管内教育長会議
12月4日	月	・閉校記念誌に係る担当者との協議・臼杵税務署長来所
12月5日	火	・市議会第4回定例会開会 ・臼杵津久見法人会来所（租税教育資料贈呈のため）
12月6日	水	・大分教育事務所長来所 ・第152回新設中学校統合推進会議 ・交通安全街頭キャンペーン（千怒サッカースポーツ少年団員 12名参加）
12月7日	木	・閉校記念誌に係る担当者との協議
12月8日	金	・教務主任会議
12月9日	土	・TOSサタデーパレット放送日
12月11日	月	・新設中学校開校推進委員会川野会長訪問
12月12日	火	・一般質問（質問者2名／3名 内容＝教育長の進める学校教育について） ・つくみ産業博in津久見高校（33社（R4＝28社））
12月13日	水	・市議会社会文教建設常任委員会
12月14日	木	・市議会予算委員会
12月15日	金	・市内文化財現地確認（大友宗麟公墓、網代島、尾崎小ミカン先祖木、赤崎アコウ等）
12月17日	日	・津久見扇子踊体験発表会（わかば 30名の体験発表）
12月18日	月	・県教育委員会文化課来所（文化部活動に係る地域移管について協議）
12月19日	火	・令和5年度第2回津久見市文化財調査委員会 ・第2回学力向上推進PT会議
12月20日	水	・第153回新設中学校統合推進会議
12月21日	木	・津久見市連合PTA役員との懇談会
12月22日	金	・2学期終業式 ・市議会第4回定例会閉会
12月23日	土	・第29回津久見檜の実少年少女合唱団 ほらほらコンサート
12月25日	月	・市長退任式・教育委員会定例会

12月12日開催の市議会一般質問について（教育委員会関連）

【質問者】高野幹也 議員

1. 後藤教育長が進める今後の教育行政について

- (1) 小学校教育について
- (2) 中学校教育について
- (3) 津久見高校の支援について

【後藤教育長 回答要旨】

・ 小学校教育について

令和6年4月からは中学校統合により、市内4つの小学校からひとつの中学校へ進学することになる。その際に4校がバラバラの教育をしていると入学時に混乱が生じる可能性があるため、学びや体験の質が統一されるようにして保護者が安心して子どもを預けられる教育をしていきたい。

・ 中学校教育について

伊勢正三氏が作ってくれた新しい校歌の歌詞にあるように「果てしなき安寧」「ゆるぎなき安寧」「限りなき永遠」とはどのような中学校を作り上げていけばいいのか、道徳や特別活動を通じて、生徒一人一人が考え、未来の津久見市が安寧で永遠に持続発展するような津久見市となるように、その形成者としての市民となるべく市民教育に厚い教育課程を施したい。

・ 津久見高校の支援について

意識して取り組んでいることは、関係者とのコミュニケーションを促進する、津久見高校を選んでもらうためのチャンスを創出するという2点である。

そのうえで、就任直後、大分県教育長を訪問した際に「津久見市を挙げて支援をしていくので、県教委としても津久見高校に対する変わらぬ支援をお願いしたい」ということを伝えてきた。

【質問者】丸木一哉 議員

1. 津久見市の学校教育について

(1) 後藤教育長が進める、これからの津久見市における学校教育行政について

ア 地域とともに歩む学校のあり方について

イ 教職員の働き方改革について

ウ 人事について

【後藤教育長 回答要旨】

・ 地域とともに歩む学校のあり方について

平成29年9月、大分教育事務所長時代に津久見市が被災した台風災害直後に被災したグラウンドを地域の方々が整備し、無事に運動会が開催されたことを見て、地域の支えあつての学校だということを感じた。

新設津久見中学校については、これまでの第一中学校、第二中学校両校を支えてくれた地域資源や皆様との関係性を大事にしながらも、新たな枠組みを構築していけるように学校を支援していきたい。

保戸島小中学校については、小規模校であるが当面の間維持していきたい。

・教職員の働き方改革について

市外への出張を減らすことができないか、文書等簡素にして負担を減らすことができないかを考えている。

・人事について

市町村の財政力に関わらず、教育の地域格差を生まぬよう市町村立の学校には、県費負担教職員が配置されている。これらの教職員によって津久見市の教育水準が維持されていることから、今後もこの制度によって津久見市の学校教育の維持・継続を図っていきたいと考えている。

③ 12、1月の主な行事予定について

教育長が、資料記載の各行事名を読み上げ、補足説明を加え報告する。

その他、意見質疑等なし。 以上、報告する。

(4) その他

① 次回の委員会開催日程について

次回の定例委員会は、令和6年1月25日(木)午後2時00分から教育委員会2階会議室で開催することに決定する。

(教育長の閉会宣言)

以上が本委員会の主な内容となりますので、ご報告いたします。

会議録作成者 管理課 幸 泰史

[会議録署名]

上記に記録した会議の顛末は、真正であることを確認する。

教育長

後藤 榮一

署名委員

佐藤 裕子